

議案第106号 令和7年度大津市ガス事業会計の決算の認定について

それでは、令和7年度大津市ガス事業会計の決算について、ご説明いたします。

令和7年度大津市公営企業会計決算書の119ページをお開き下さい。

令和7年度大津市ガス事業報告書です。

1 概況、(1) 総括事項ページ中ほどのア供給状況をご覧下さい。

令和7年度の年間託送供給量は、1億3,166万9千 m^3 で、対前年度、657万9千 m^3 の増となりました。

受入ガス量は、1億2,743万 m^3 で、対前年度、584万6千 m^3 の増となりました。

次に、イ財政状況です。

119ページ下段から120ページ上段にかけてご覧下さい。

総収益41億5,690万円に対し、総費用39億2,354万円となり、差し引き、2億3,336万円の当年度純利益となりました。

次に、資本的収支では、収入総額4億2,243万円に対し、支出総額17億8,459万円となり、差引不足額は、13億6,216万円となりました。

この不足額につきましては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支

調整額 1 億 8 9 5 万円、建設改良積立金 2 億 3 5 5 万円、過年度分損益勘定留保資金 1 0 億 4, 9 6 5 万円で補てんしました。

次に、ウ建設改良事業です。

記載のとおり、ガス導管網の整備や宅地開発等による供給申請に伴う導管整備などの拡張事業や、ガスの安定供給や保安確保を図るための導管整備や経年管の布設替などを計画的に実施しました。

続きまして、エ公営企業の経営の健全化についてです。

財政健全化法（地方公共団体の財政の健全化に関する法律）に規定する資金不足比率については、0 %以下となり、資金不足は生じていません。

（２）経営指標に関する事項については、経営の健全性を示す経常収支比率は、健全経営の水準とされる 1 0 0 %を上回っており、料金水準の妥当性を示す料金回収率も、事業に必要な費用を料金で賄えている状況とされる 1 0 0 %を上回っています。

一方で、法定耐用年数を経過した導管延長の割合を示す管路経年化率は、前年度に比して 1. 6 ポイント増となりました。また、更新した導管延長の割合を示す管路更新率は、前年度比 0. 0 3 ポイント増となりました。

続きまして、1 2 1 ページをお願いいたします。

（３）議会議決事項について、令和 7 年度において議会の議決を得た事

項は8議案で、記載のとおりです。

(4) 行政官庁許認可申請事項及び、(5) 料金その他の供給条件の設定、変更に関する事項については、該当ありません。

それでは、引き続き、令和7年度大津市ガス事業決算について、説明させていただきます。

決算書の108、109ページを、お開き下さい。

令和7年度大津市ガス事業決算報告書です。

金額につきましては、税込みで表示しております。

まず、(1) 収益的収入及び支出です。

収入の第1款ガス事業収益ですが、当初予算額42億4,235万円に、補正予算額3億34万円を増額した、予算額合計45億4,269万円に対し、決算額は、45億4,756万円で、執行率は100.1%です。

第1項ガス事業売上高の決算額は、35億5,534万円で、主に、託送供給収益です。

第2項営業雑収益の決算額は、5億5,669万円で、主に、受注工事収益です。

第3項附帯事業収益の決算額は、1億8,123万円で、主に、ガス料金収受等代行業務の受託事業収入です。

第4項営業外収益の決算額は、1億8,854万円で、主に、受取利息や、長期前受金戻入です。

第5項特別利益の決算額は、6,575万円で、土地・建物や車両の売却に伴う固定資産売却益を計上したものです。

次に、支出、第1款ガス事業費用ですが、当初予算額40億9,154万円で、補正予算額2億4,869万円を増額した、予算額合計43億4,023万円に対し、決算額は、41億9,830万円で、執行率は96.7%です。

第1項営業費用の決算額は、33億9,581万円で、ガス事業全般に要する費用です。

第2項営業雑費用の決算額は、5億3,669万円で、主に、受注工事費用です。

第3項附帯事業費用の決算額は、1億7,479万円で、主に、ガス料金収受等代行業務の受託事業実施に伴う委託作業費や人件費等の費用です。

第4項営業外費用の決算額は、9,099万円で、主に、納税消費税と不用品の売却原価等の費用です。

第5項特別損失、第6項予備費の支出はありません。

続きまして、110、111ページをお開き下さい。

(2) 資本的収入及び支出です。

同じく金額は、税込みで表示しております。

収入の第1款資本的収入ですが、当初予算額4億2,136万円に、補正予算額1,176万円を増額し、地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額241万円を加えた、予算額合計4億3,554万円に対し、決算額は、4億2,243万円で、執行率は97.0%です。

第1項工事負担金の決算額は、400万円で、内容は、他事業者からの依頼による導管布設替えに伴う工事負担金です。

第2項補助金の決算額は、254万円で、内容は、国庫補助金です。

第3項固定資産売却代金の決算額は、1,588万円で、内容は、土地・建物や車両の売却に伴うものです。

第4項投資の決算額は、4億円で、内容は、満期保有目的有価証券の元本償還に伴うものです。

次に、支出、第1款資本的支出ですが、当初予算額19億3,203万円に、補正予算額2,854万円を減額し、地方公営企業法第26条の規定による繰越額4億2,127万円を加えた、予算額合計23億2,476万円に対し、決算額は、17億8,459万円で、執行率は76.8%です。

また、翌年度繰越額は、2億9,483万円となっております。

第1項建設改良費の決算額は、13億8,459万円、第2項投資の決算額は、4億円で、満期保有目的有価証券の購入によるものです。

112ページをお開き下さい。

大津市ガス事業損益計算書です。この損益計算書は、令和7年度における事業の経営成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益と、これに対応するすべての費用を記載したもので、金額は、税抜きです。

1 ガス事業売上高は、託送供給収益などで、合計32億3,212万円、2 売上原価は、プロパンガスの製品仕入高で、47万円、売上から原価を差し引きました、売上総利益、いわゆる粗利益は、32億3,165万円となりました。

3 供給販売費及び4 一般管理費の合計は、32億4,882万円で、営業損失は、1,717万円となりました。

5 営業雑収益は、受注工事収益などで、5億608万円、6 営業雑費用は、受注工事費用で、4億9,001万円となり、これと、営業損失を差し引きした、営業総損失は、110万円となりました。

7 附帯事業収益は、ガス料金収受等代行業務の受託事業収入で、1億6,492万円、8 附帯事業費用は、受託事業実施に係る経費で、

1億6,287万円となり、これと、営業総損失を差し引きした、総営業利益は、94万円となりました。

9営業外収益は、受取利息、長期前受金戻入などで、合計、1億8,838万円、10営業外費用は、不用品売却原価などで、2,135万円となり、これと、総営業利益を差し引きした、経常利益は、1億6,798万円となりました。

11特別利益は、土地・建物や車両の売却益を計上したもので、6,538万円となり、結果、当年度純利益及び当年度末処分利益剰余金は、2億3,336万円となりました。

次の114、115ページをお開き下さい。

大津市ガス事業剰余金計算書です。金額は同じく、税抜きです。

これは、資本金、資本剰余金、利益剰余金の変動を表すものです。

上段左端から、資本金です。

資本金は、前年度末残高256億7,533万円に対して、前年度処分額3,325万円を加えた、処分後残高は、257億858万円となりました。

当年度変動額は、2億354万円の増加となり、結果、当年度末残高は、259億1,213万円となりました。

次に、受贈財産評価額である資本剰余金合計の前年度末残高14万円に

対して、前年度処分額はなく、処分後残高は、同額となりました。

当年度変動額は、１０７万円の増加となり、結果、当年度末残高は、
１２１万円となりました。

次に、その右側、利益剰余金です。

利益剰余金のうち、未処分利益剰余金の前年度末残高２億３，６８０万円につきましては、大津市水道事業、下水道事業及びガス事業の設置等に関する条例第４条の４の規定により、繰延収益相当額である３，３２５万円を自己資本金に組み入れ、残額の２億３５４万円は建設改良積立金へ積み立てました。未処分利益剰余金の当年度変動額は、当年度純利益
２億３，３３６万円となりました。

結果、利益剰余金合計は、一番下の行、災害対策積立金３０億円、未処分利益剰余金２億３，３３６万円を合わせ、３２億３，３３６万円となり、資本金と剰余金を合わせた資本合計の当年度末残高は、一番右の行の最下段、２９１億４，６７２万円となりました。

１１４ページ下をご覧ください。

大津市ガス事業剰余金処分計算書です。金額は同じく、税抜きです。

まず、資本剰余金の処分については、なく、決算で生じた未処分利益剰余金の処分につきましては、大津市水道事業、下水道事業及びガス事業の設置等に関する条例第４条の４の規定により、繰延収益相当額である

4, 515万円を自己資本金に組み入れ、残額の1億8, 821万円を、建設改良積立金に積み立てるものです。

結果、資本金残高は、259億5, 729万円となり、資本剰余金残高は、121万円、繰越利益剰余金残高は、0円となります。

116ページをご覧ください。

大津市ガス事業貸借対照表です。

貸借対照表は、事業の財政状態を明らかにするために、令和8年3月31日の時点において、保有する全ての資産、負債及び資本を総括的に表示したものです。

最初に資産の部です。

(1) 有形固定資産は、供給設備や業務設備の土地、建物などで、合計は、115億9, 437万円、(2) 無形固定資産は、ソフトウェアなどで、合計は、3, 276万円、(3) 投資その他の資産のうち、ア投資有価証券76億円は、満期保有目的有価証券、イその他投資4, 760万円は出資金で、合計で、76億4, 760万円となりました。

以上、1固定資産合計は、192億7, 474万円です。

2流動資産は、現金・預金などで、合計は、129億7, 703万円で、資産合計は、322億5, 177万円となりました。

続きまして、117ページをお願いいたします。負債の部です。

3 固定負債は、退職給付引当金で、6 億3, 5 1 4 万円、4 流動負債は、未払金や預り金などで、合計は、2 1 億4, 0 3 4 万円、5 繰延収益は、長期前受金で、このうち、既に収益化したものを除いた額は、3 億2, 9 5 6 万円となり、負債合計は、3 1 億5 0 5 万円となりました。

続きまして、1 1 8 ページをお願いいたします。資本の部です。

6 資本金は、2 5 9 億1, 2 1 3 万円、7 剰余金は、資本剰余金、利益剰余金で、3 2 億3, 4 5 8 万円、資本金と剰余金を合わせた資本合計は、2 9 1 億4, 6 7 2 万円で、負債資本合計は、3 2 2 億5, 1 7 7 万円であり、資産合計と一致し、貸借均衡しております。

続きまして少し飛びますが、1 2 4 ページをお願いいたします。

なお、1 2 2 から1 2 3 ページには、令和7年度に契約しました主な工事を記載しておりますが、説明は省略させていただきます。

3 業務、(1) 業務量については、先ほど事業報告で説明したとおりです。

(2) 事業収入に関する事項のうち、ガス事業売上高は、3 2 億3, 2 1 2 万円で、対前年度2 6 8 万円の増で、託送供給収益が増加したことによるものです。

営業雑収益は、5 億6 0 8 万円で、対前年度6, 3 2 5 万円の増で、受

注工事収益の増加によるものです。

附帯事業収益は、1億6,492万円で、対前年度599万円の増、営業外収益は、1億8,838万円で、対前年度7,438万円の増、特別利益は、6,538万円で、土地・建物及び車両の売却に伴う固定資産売却益を計上したものです。

次に、(3) 事業費に関する事項のうち、売上原価は、47万円で、対前年度7万円の減、供給販売費は、29億1,399万円で、対前年度1億623万円の増、一般管理費は、3億3,483万円で、対前年度4,233万円の増、営業雑費用は、4億9,001万円で、対前年度5,634万円の増で、受注工事費用の増加によるものです。

附帯事業費用は、1億6,287万円で、対前年度1,015万円の増、営業外費用は、2,135万円で、対前年度13万円の増で、特別損失はなく、対前年度で皆減となりました。

125ページをお願いいたします。

4 会計ですが、(1) 重要契約の要旨、並びに、(2) 企業債及び一時借入金の概況については、該当ありません。

5 その他です。

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実は、該当ありません。

(2) 他会計負担金等の使途については、消費税の申告にあたり記載しているもので、説明は省略させていただきます。

また、126ページにはキャッシュ・フロー計算書を、127ページから128ページは、決算に関する注記事項を、129ページから132ページは、収益費用明細書を記載しておりますが、説明につきましては、省略させていただきます。

次に、134、135ページをお開き下さい。固定資産明細書です。

(1) 有形固定資産の年度当初現在高合計は、535億5,133万円、当年度増加額は、24億7,879万円、当年度減少額は、16億7,298万円、年度末現在高は、543億5,714万円となりました。

また、減価償却累計額の当年度増加額は、10億5,226万円、当年度減少額は、4億2,590万円、累計は、427億6,277万円、年度末償却未済高は、115億9,437万円となりました。

(2) 無形固定資産の年度当初現在高合計は、4,541万円、当年度増加額は、474万円、当年度減少額は、1万円、当年度減価償却高は、1,737万円、年度末現在高は、3,276万円となりました。

(3) 投資その他の資産の年度当初現在高合計は、76億4,760万円、当年度増加額、4億円は、満期保有目的有価証券の購入によるもの

で、当年度減少額、４億円は、定時償還債から令和８年度に償還される分
を固定資産から流動資産に振り替えたもので、年度末現在高は、
７６億４，７６０万円となりました。

以上、令和７年度大津市ガス事業会計の決算についての説明とさせていただきます。